

# 北大東村 循環型社会形成推進地域計画

北 大 東 村  
平成25年12月27日

## 1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

### (1) 対象地域

構成市町村名	北大東村
面 積	13.10 km <sup>2</sup>
人 口	546人（平成24年10月1日現在）

### (2) 計画期間

本計画は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

### (3) 基本的な方向

北大東村の生活排水については、汲み取り世帯や単独処理浄化槽世帯からの生活雑排水は公共用水域の水質悪化の原因となっていることから、これらの世帯に対し、合併処理浄化槽への切り替えを推進する。

また、し尿及び浄化槽汚泥については、現在、し尿等貯留設備において一時貯留後、農地還元を行っているが、施設の老朽化が著しく、適正な処理が困難な状況にある。今後は汚泥再生処理センターを整備し、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行っていくものとする。

#### (4) 広域化の検討状況

##### ア 汚泥等処理施設

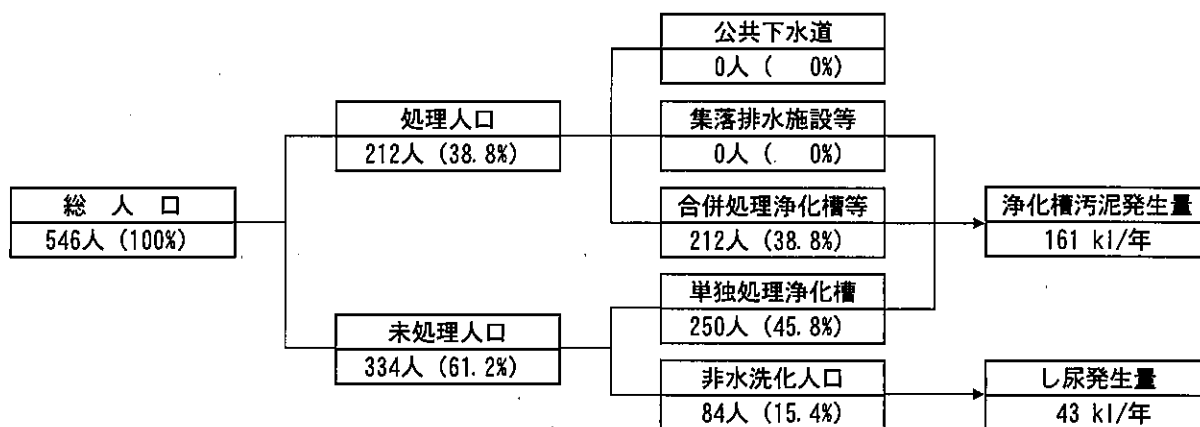
「広域化計画」における本村の目標は、計画期間内（平成11～20年度）は汚泥等処理施設を新設して対応し、将来的に当該施設を継続使用する計画となっていた。しかしながら現段階では用地が確保できていないため未整備である。

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標

### (1) 生活排水の処理の現状

平成24年度の生活排水の処理の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図1のとおりである。生活排水処理対象人口は全体で546人であり、水洗化人口は212人、汚水衛生処理率38.8%である。

し尿発生量は43 kl/年、浄化槽汚泥発生量は161 kl/年であり、処理・処分量（＝収集・運搬量）は204 kl/年である。



※1 総人口に対する割合は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。  
 ※2 人口は平成24年10月1日現在の値である。

図1 生活排水の処理状況フロー（平成24年度）

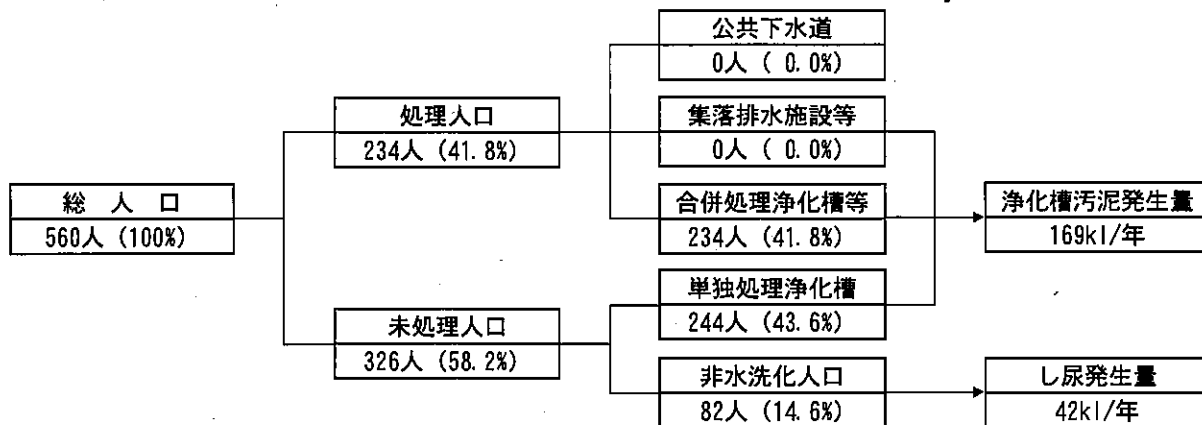
(2) 生活排水処理の目標

生活排水については、表1に掲げる目標のとおり、合併処理浄化槽の普及を進めていくものとする。

表1 生活排水処理に関する現状と目標

		平成 24 年度実績	平成 31 年度目標
処理形態別人口	公共下水道	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
	農業集落排水施設等	0 人 (0.0%)	0 人 (0.0%)
	合併処理浄化槽等	212 人 (38.8%)	234 人 (41.8%)
	未処理人口	334 人 (61.2%)	326 人 (58.2%)
	合計	546 人	560 人
し尿・汚泥の量	くみ取りし尿量	43 ｷﾘｯﾄﾙ	42 ｷﾘｯﾄﾙ
	浄化槽汚泥量	161 ｷﾘｯﾄﾙ	169 ｷﾘｯﾄﾙ
	合計	204 ｷﾘｯﾄﾙ	211 ｷﾘｯﾄﾙ

※1 総人口に対する割合は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。



※1 総人口に対する割合は四捨五入しているため、合計が合わないことがある。

図2 目標達成時の生活排水の処理状況フロー

### 3 施策の内容

#### (1) 発生抑制、再使用の推進

##### ア 環境教育、普及啓発

地域の婦人会等と連携しつつ、講演会を開くなど、住民を対象とした環境教育、環境意識の普及啓発を行う。

##### イ 生活排水対策

家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のため、次の啓発活動の強化を図る。

- ・広報活動の実施
- ・無リン洗剤、せっけんの使用促進

#### (2) 処理体制

##### ア 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き汲み取り世帯、単独浄化槽世帯に対し、合併処理浄化槽の普及を進めていく。

また、し尿及び浄化槽汚泥については、現在、し尿等貯留設備において一時貯留後、農地還元を行っているが、施設の老朽化が著しく、適正な処理が困難な状況にある。今後は汚泥再生処理センターを整備し、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行っていくものとする。

##### イ 今後の処理体制の要点

◇生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、合併浄化槽の設置を推進する。

◇し尿及び浄化槽汚泥を処理するため、汚泥再生処理センターを整備する。

#### (3) 処理施設の整備

##### ア 廃棄物処理施設

し尿及び浄化槽汚泥の適正処理、再生利用の促進を図るため、表2のとおり必要な施設整備を行う。

表2 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間
1	汚泥再生処理センター	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備事業	1kl/日	北大東村字港地内	H27

※ 現有処理施設の概要を添付（現有施設名、所在地、種類、処理能力等、処理する廃棄物、竣工年月について一覧表としたもの）（別添1）

（整備理由）

事業番号1 既存し尿等貯留設備の老朽化、し尿及び浄化槽汚泥の適正処理、し尿処理汚泥の再生利用促進

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、平成26年度～平成30年度に表3のとおり行う。

表3 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済 基数(基) (平成24年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業期間
浄化槽設置整備事業	20基	10基	22人	H26～H30
浄化槽市町村整備推進事業	—	—	—	—
その他地方単独事業	—	—	—	—
合計	20基	10基	22人	

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の汚泥再生処理センターの整備に先立ち、平成26年度に発注仕様書作成等の計画支援事業を行う。

表4 整備する処理施設

事業 番号	事業名	事業内容	事業期間
31	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備に関する 計画支援事業	発注仕様書作成、生活環境影響調査等	H26

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 再生利用品の需要拡大事業

生ごみ等から作られた堆肥については、今後も地域内の農家、学校、公共施設等にて利用を推進する。

イ 廃家電のリサイクルに関する普及啓発

廃家電のリサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法に基づく、適正な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店などと協力して、普及啓発を行う。

ウ 不法投棄対策

村内の各区などと一体となった普及啓発により、分別区分の徹底を進めるとともに、パトロールの強化や立て看板の設置、外灯の設置などを行い、不法投棄防止を図る。

## エ 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺地域との連帯体制を構築する。

また、北大東村における災害時の廃棄物処理については、当面下記により行うものとする。「災害廃棄物処理計画（仮称）」については、目標達成状況報告の内容と含める検討を行う。

※仮置場 …………… 地域自治会と協議して定める。

※最終処分場 …… 原則として、北大東村一般廃棄物最終処分場にて行うが、必要に応じ、環境保全上支障のない方法で行う。

※仮設トイレ …… 仮設トイレの必要数を把握し、避難所等へ設置する。

## 4 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、国及び沖縄県と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめた時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする

様式1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (平成26年度)

1 地域の概要

(1) 地域名	北大東村	(2) 地域内人口	546人	(3) 地域面積	13.10km <sup>2</sup>
(4) 構成市町村等名	北大東村	(5) 地域の要件	人口 面積 (沖繩) (離島) 奄美 豪雪 山村 半島 (過疎) その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況					
① 組合を構成する市町村：			② 設立(予定)年月日： 年 月 日 設立、認可予定		
③ 設立されていない場合、今後の見通し：					

2 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容				更新、廃止、新設の内容					備考
		型式及び処理方式	備の有無	処理能力(単位)	開始年月	更新・廃止予定年月	更新・廃止・新設理由	型式及び処理方式	施設竣工予定年月	処理能力(単位)	
ごみ焼却施設	北大東村	機械化バッチ式	有	2t/日	H14.4	—	—	—	—	—	H23基幹的整備改造を実施
ストックヤード	北大東村	—	有	約150	H14.9	—	—	—	—	—	
最終処分場	北大東村	—	有	2,000m <sup>3</sup>	H21.3	—	—	—	—	—	
し尿等貯留設備	北大東村	—	無	150m <sup>3</sup>	S61.4	H28.3	老朽化	—	—	—	廃止
汚泥再生処理センター	北大東村	—	—	—	—	—	資源化(堆肥化)	脱水・乾燥処理及び好気性消化処理	H28.3	1kl/日	新設

※ 計画地域内の施設の状況(現況、予定)を地図上に示したものを添付した。(別添3)



様式1

3 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	年	過去の状況・現状						目標
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成31年度
総人口		538	526	525	529	535	546	560
公共下水道	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率							
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率							
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	155 28.8%	175 33.3%	178 33.9%	190 35.9%	198 37.0%	212 38.8%	234 41.8%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	383	351	347	339	337	334	326

※ 指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを別添2として添付。

4 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	北大東村	20基	44人	平成13年4月	10基	22人	平成31年度	

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2（平成26年度）

事業種別	事業 番号	事業主 体名称	規模		事業		総事業費（千円）					交付対象事業費（千円）					備考		
			単位		開始	終了	計	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計	H26年度	H27年度	H28年度		H29年度	H30年度
○し尿処理に関する事業							250,000	0	250,000	0	0	0	230,000	0	230,000	0	0	0	
有機性廃棄物リサイクル推進施設整備事業	1	北大東村	1	kl	H27	H27	250,000	0	250,000	0	0	0	230,000	0	230,000	0	0	0	
○浄化槽に関する事業							3,320	664	664	664	664	664	3,320	664	664	664	664	664	
浄化槽設置整備事業	2	北大東村	10	基	H26	H30	3,320	664	664	664	664	664	3,320	664	664	664	664	664	
○施設整備に係る計画支援に関する事業							25,715	25,715	0	0	0	0	25,715	25,715	0	0	0	0	
有機性廃棄物リサイクル推進施設整備に関する計画支援事業	31	北大東村			H26	H26	25,715	25,715	0	0	0	0	25,715	25,715	0	0	0	0	
合計							279,035	26,379	250,664	664	664	664	259,035	26,379	230,664	664	664	664	

地域の循環型社会形成推進のための施策一覧

施策種別	施策番号	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間 交付期間		交付金 必要の 要否	事業計画					備考		
					開始	終了		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度			
発生抑制、 再使用の 推進に關 するもの	11	環境教育、普及啓発	環境教育、普及啓発にかかる講演会等を婦人会等と連携し、実施する。	北大東村	H26	H30		環境教育、普及啓発							
	12	生活排水対策	家庭等からの汚濁負荷量削減のための啓発活動を実施する	北大東村	H26	H30		汚濁負荷量削減の啓発							
処理体制 の構築、変 更に關する もの	21	合併処理浄化槽の普及促進	単独浄化槽等世帯に対し、合併処理浄化槽への転換の普及促進を図る	北大東村	H26	H30		合併浄化槽の普及啓発							
処理施設 の整備に 關するもの	1	汚泥再生処理センター	し尿及び浄化槽汚泥を適切に処理、再生利用を図るため、処理施設の整備を行う。	北大東村	H27	H27	○	建設 工事							
	2	合併浄化槽整備	単独浄化槽等から合併浄化槽へ転換を行う者に対し、工事費用等の一部を補助する。	北大東村	H26	H30	○	合併浄化槽整備							
施設整備 に係る計 画支援に 關するもの	31	1の計画支援	汚泥再生処理センター整備に関する発注仕様書作成、生活環境調査等を行う。	北大東村	H26	H26	○	調査 ・設計							
その他	41	再生利用品の需要拡大	生ごみから製造されるたい肥の利用先の確保等、その需要拡大を行う。	北大東村	H26	H30		公共施設等でのたい肥の利用							
	42	家電リサイクルに關する普及啓発	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発を図る。	北大東村	H26	H30		普及啓発							
	43	不法投棄対策	不法投棄のされやすい場所などを定期的にパトロールし、立て看板、外灯等を設置する。	北大東村	H26	H30		パトロール実施、看板・外灯等の設置							
	44	災害時の廃棄物処理に關する事項	災害廃棄物処理計画の策定について検討し、当該計画に基づいた体制整備を行う。	北大東村	H26	H30		体制構築・協議							

## 施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 沖縄県

(1) 事業主体名	北大東村
(2) 施設名称	有機性廃棄物リサイクル推進施設（仮称）
(3) 工期	平成 27 年度
(4) 施設規模	処理能力 1 k l / 日
(5) 形式及び処理方式	脱水・乾燥処理及び好気性消化処理
(6) 地域計画内の役割	性能指針に適合する汚泥再生処理センターを整備し、適正に生ごみ、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行う。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	無し

## 「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	堆肥化
(9) 資源化の利用計画	固形肥料としての緑農地還元利用

## 「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び面積	—
(11) 計画地域の性格	—
(12) 事業計画額	250,000千円

## 施設概要（浄化槽系）

都道府県名 沖縄県

(1) 事業主体名	北大東村
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	本村においては、一定規模の集落区域が少なく、ほとんどの家屋が点在している状況にあることから各種生活排水処理施設の整備は難しい。そのため、村内全域を合併処理浄化槽整備対象地域と設定し、公衆衛生の向上に努めるものとする。
(4) 事業期間	平成26年度～平成30年度
(5) 事業対象地域の要件	浄化槽設置整備事業実施要項 第3(1)アの(キ)
(6) 事業計画額	交付対象事業費 3,320千円 うち（以下の事業を実施する場合） ・炭素社会対応型浄化槽整備推進事業に係る事業費 千円 ・浄化槽整備区域推進特別モデル事業に係る事業費 千円

## ○ 国庫補助対象となる浄化槽の整備規模

## 【浄化槽設置整備事業の場合】

人槽区分	補助対象基数 (22人分)	うち 単独撤去	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	10基(22人分)	基	3,320千円	3,320千円	3,320千円
6～7人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
8～10人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
11～20人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
21～30人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
31～50人槽	基(人分)	基	千円	千円	千円
51人槽以上	基(人分)	基	千円	千円	千円
改築	基				
計画策定調査費					
合計	10基(22人分) 改築を除く	基	3,320千円	3,320千円	3,320千円

## 計 画 支 援 概 要

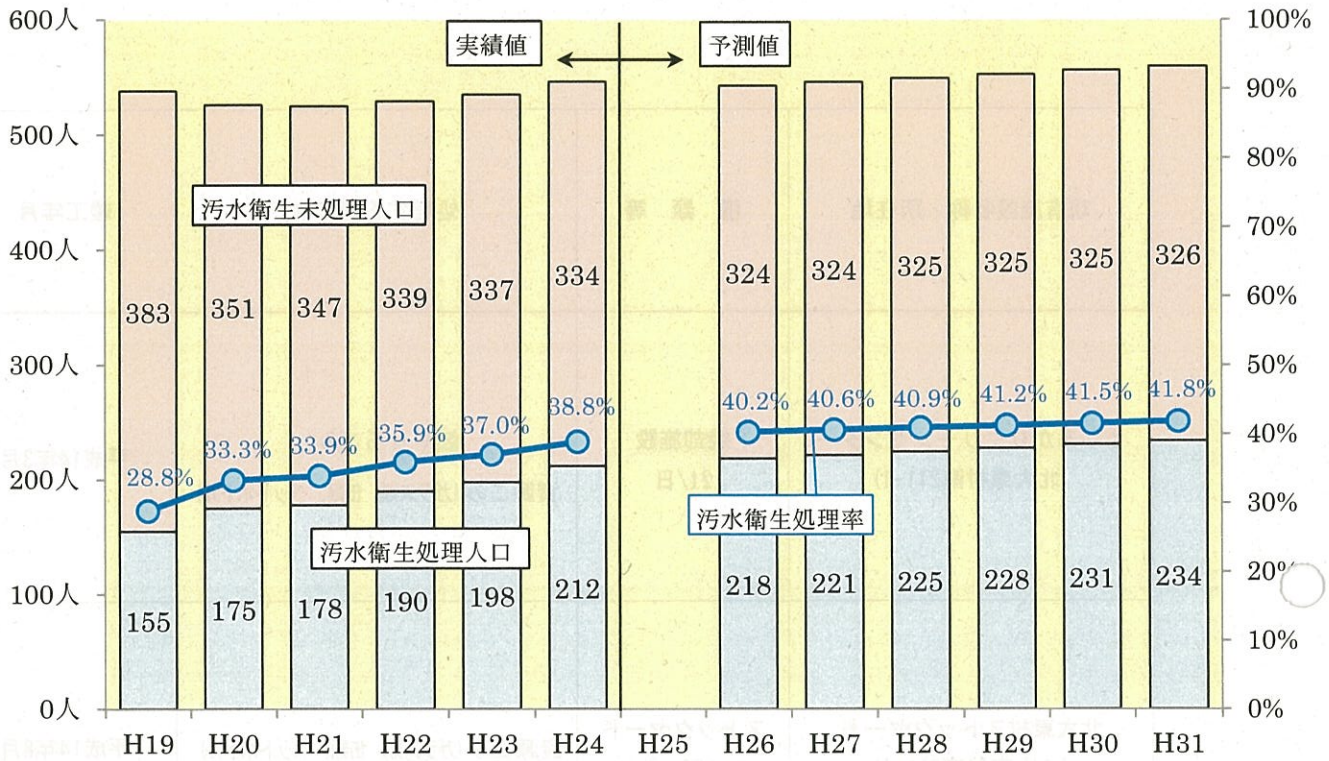
都道府県名 沖縄県

(1) 事業主体名	北大東村		
(2) 事業目的	汚泥再生処理センター整備のため		
(3) 事業名称	有機性廃棄物リサイクル 推進施設整備に関する計 画支援事業（仮称）		
(4) 事業期間	平成 26 年度	平成 年度 ~ 平成 年度	平成 年度 ~ 平成 年度
(5) 事業概要	汚泥再生処理センター整 備に関する発注仕様書作 成や生活環境影響調査等 を行う。		
(6) 事業計画額	25,715千円		

## 北大東村における現有処理施設の概要

現有施設名称・所在地	種 類 等	処理する廃棄物	竣工年月
うふあがりクリーンセンター (北大東村南211-1)	焼却施設 2t/日	燃やせるごみ、 資源ごみ(ガラス類、缶類、ペットボトル)	平成14年3月
北大東村ストックヤード (北大東村南211-1)	ストックヤード 150m <sup>2</sup>	資源ごみ(ガラス類、缶類、ペットボトル)	平成14年8月
北大東村一般廃棄物最終処分場 (北大東村字港地内)	埋立処分地施設 埋立容積2,000m <sup>3</sup>	焼却残渣、不燃ごみ、粗大ごみ、 その他	平成20年12月
し尿等貯留設備 (北大東村中野地内)	し尿・汚泥等 貯留設備 150m <sup>3</sup>	し尿、浄化槽汚泥	昭和61年3月

生活排水処理人口と汚水衛生処理率の実績値と予測値





# 計画地域内の施設の状況

